

国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に取り組み、現地の研究機関と協力して国際研究集会や共同研究を行っています。今回もロシア国立歴史文書館長をはじめ、サンクトペテルブルクから三名の研究者を招聘し、ロシアの文書館が所蔵する史料群に基づいた報告をお願いしています。今回初参加のロシア国立海軍文書館長は、ロシア海軍の水路部海図局長をお勤めだったこともある海図の専門家です。興味深いお話が期待できるかと思えます。ぜひご参加ください。

日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時:2016年5月24日(火)、14:00~17:00

会場:東京大学史料編纂所(大会議室)

▼報告1:ワジム・クリモフ上級研究員
(ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所)

「1862年日本使節団が見たサンクトペテルブルクの
イズレル興行施設とレガッタ」

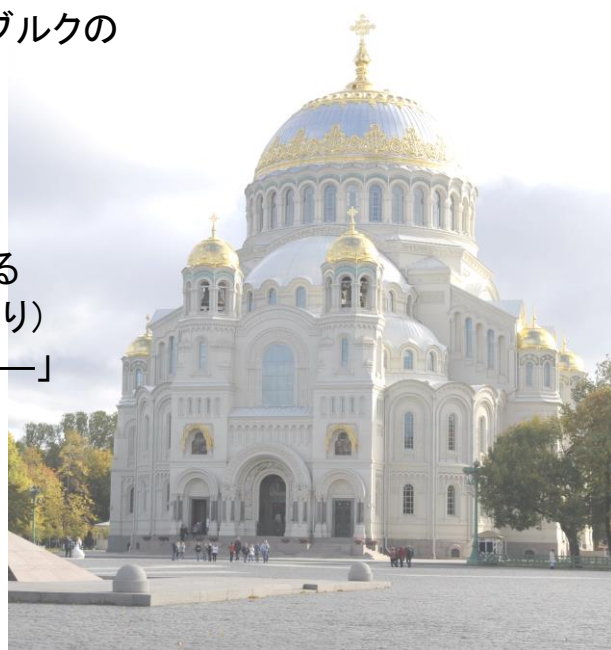
▼報告2:ワレンチン・スミルノフ館長
(ロシア国立海軍文書館)

「1880年代ロシア海軍水路測量家たちによる
日本沿岸海図の出版(海軍文書館史料より)
—19世紀のロシア海図、その編纂と出版—」

▼報告3:セルゲイ・チェルニャフスキー館長
(ロシア国立歴史文書館)

「1916年閑院宮載仁親王のロシア訪問
—来露100年を記念して—」

※終了後、レセプションを予定。



クロンシュタット軍港、海の大聖堂



共催/東京大学史料編纂所・ 日本学士院

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(S)「マルチアーカイブ的的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷 徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関連事業)の一環として行われます。

史料編纂所大会議室(会場は研究所の向かい側の建物、地下1階です)。